

令和7年度 在宅医療と介護に関する研修会
「ワーキングケアラー ～働く誰もが、誰かのこども～」 報告書

1 日 時 令和8年2月13日（金）18：30～20：00

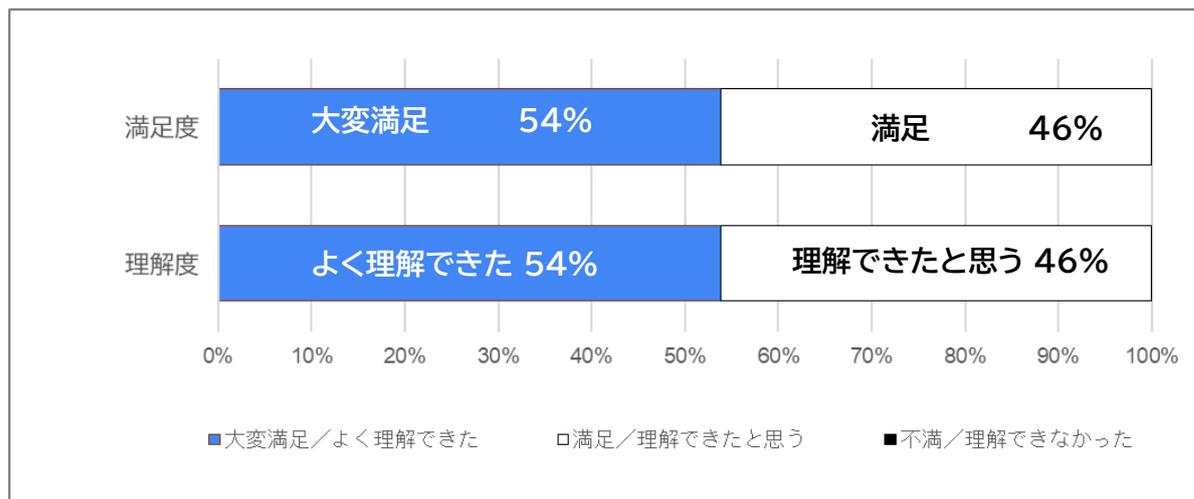
2 開催方法 オンライン（Zoom）

3 講 師 岡江 晃児 氏
株式会社 NTTデータ ライフデザイン ケアライフデザイナー

4 内 容 現在、要介護状態となる人の平均年齢は、おおよそ80代前半。50年前の初産年齢の平均が26歳であることを考えると、介護者となる子世代の多くは50代の働き盛りであり、また、子育て真っ最中の可能性もある。
今回の研修では、介護者としての家族とどう向き合い、どのように支援できるのか？支援者として、『わたくしごと』として、どのように仕事と介護を両立させていくかを、講話と多職種による意見交換により、各々の立場で考えてみる。

5 参加者の職種 （参加者数 28名 / 申込者数 32名）

居宅 包括	ケアマネジャー	16
	地域包括支援センター 職員	3
医療機関	医 師	0
	医療ソーシャルワーカー	5
	訪問看護師	1
	事 務	1
その他		2
計		28名



7 アンケートで寄せられた感想・意見 (抜粋)

- ・ 各事例、体験談を交えての講演で、身近に感じた。
- ・ 大変分かり易かった。 / 大変参考になった。 [複数意見]
- ・ ワーキングケアラーの実情や具体的な支援について、理解を深めることができた。 [複数意見]
- ・ 産業ソーシャルワーカーの仕事内容を知ることができて良かった。
- ・ 社員が仕事と介護を両立できるようにするための企業の取り組みも知ることができた。
- ・ 家族側の視点 / 家族の立場に立って物事を考える大切さを改めて感じた。 [複数意見]
- ・ グループワークで、色々な視点からの意見が聞けて良かった。参考になった。 [複数意見]
- ・ グループワークでの意見交換が、アウトプットに繋がった。
- ・ 魔法の言葉 (家族への労いの一言) 頂きました、ありがとうございました。
家族への労いの言葉掛けを、常に心掛けたいと思いました。 [複数意見]

【参考】研修前アンケート

日頃、キーパーソンでもあるワーキングケアラーと接する上で感じていることを参加者 (MSW、居宅ケアマネジャー等) に伺いました。

【問1】働いている介護者 (キーパーソン) と接する上で感じること

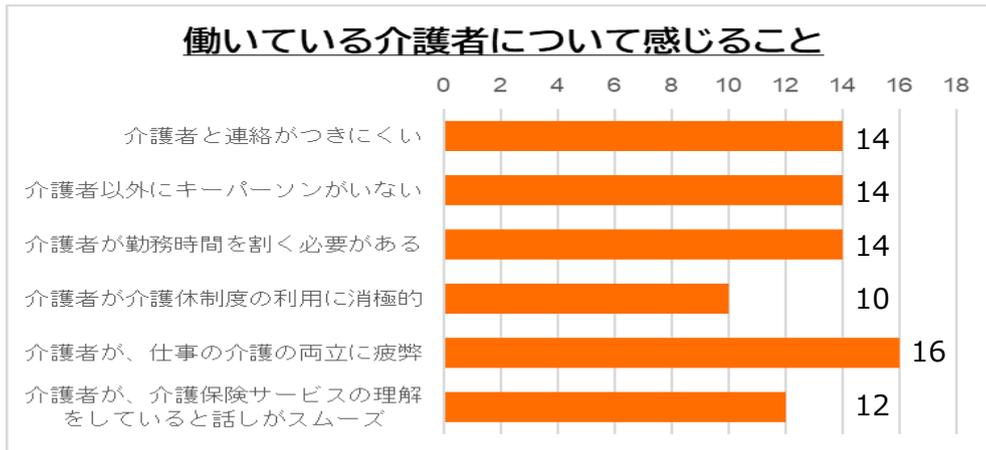
【問2】介護離職を見聞きした経験

【問3】介護者への支援を必要と感じた経験

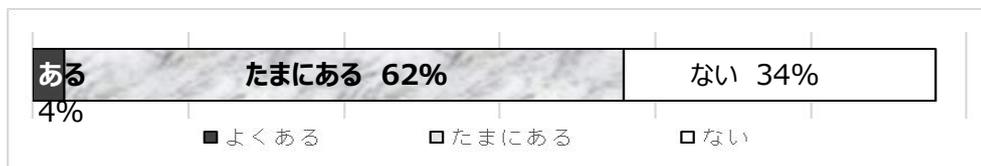
【問4】「これがあれば介護離職しなくても済むのでは？」と思われる制度やサービス

【問5】介護者 (キーパーソン) の、勤務先との連絡・連携の経験

【問1】働いている介護者（キーパーソン）と接する上で感じること



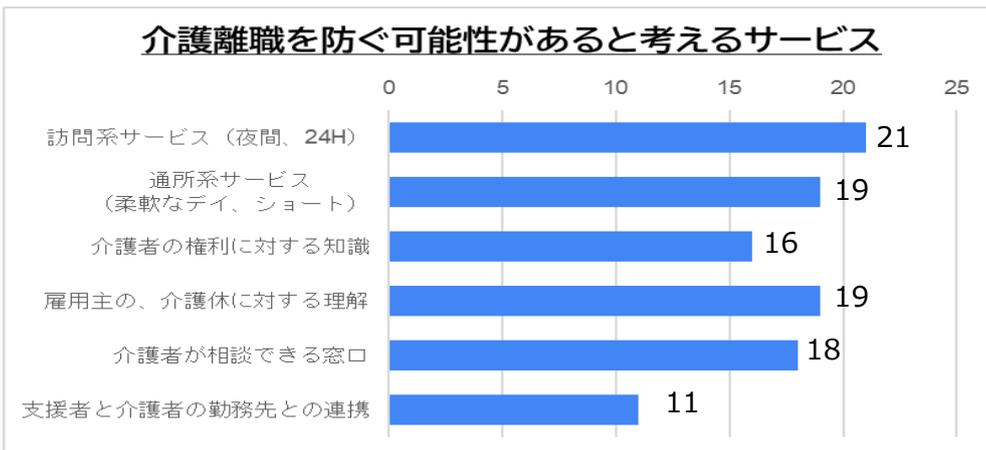
【問2】介護離職を見聞きした経験



【問3】介護者への支援を必要と感じた経験・・・100%



【問4】「これがあれば、介護離職しなくても済んだのでは？」と思われる制度やサービス



【問5】介護者（キーパーソン）の、勤務先との連絡・連携の経験

